

八潮市立資料館の活動

高山 治
八潮市立資料館

1. 設立までの経過

八潮市立資料館は、「地域の資料を収集、整理・保存、調査研究し、八潮市の文化向上と文化遺産の保存を図る」ことを設置目的に掲げ、地域文書館の機能のみならず地域博物館及び文化財センター的性格をも併せ持つ複合施設として平成元年11月23日に開館しました。

館の設立構想が持ち上がることとなる直接的なきっかけは、昭和51年より進められていた市史編纂事業で、事業の進行過程で収集した公文書資料や古文書資料など、貴重な地域資料を良好な環境で保存する施設が必要と考えられたことによります。

なお、設立に到るまでの経過については、下記に示します。

- 昭和51年4月 八潮市史編さん委員会設置
条例施行
- 昭和51年5月 市史編纂委員委嘱・委員会
を組織
- 昭和51年11月 八潮市市史編さん大綱答申
(市史終了後資料館移行の
計画を立案)
- 昭和54年3月 第2次市総合振興計画基本
構想を議会が承認(資料館
開設計画が掲載)
- 昭和60年4月 八潮市立資料館開設準備委

員会条例施行

- 昭和60年10月 資料館開設準備委員委嘱委
員会を組織
- 昭和61年1月 資料館建築プロジェクトチー
ムを編成
- 昭和62年9月 「八潮市立資料館運営計画
書」作成
- 昭和63年5月 資料館建設工事着工
- 平成元年4月 八潮市立資料館条例施行
- 平成元年6月 資料館竣工
- 平成元年11月 資料館開館

2. 施設の概要

当館は鉄筋コンクリート造3階建てで、1階部分には、明治期からの公文書資料や近隣自治体史などを収蔵する資料庫、歴史図書などを配架した閲覧室、収蔵庫1(生産生業関係の民具資料を収納)のほか、市民のサークル活動や学習活動に提供する会議室・学習室、などがあります。

2階は主に展示スペースで占められ、市の歴史・文化を紹介する常設展示室、定期的にテーマ展示を開催する企画展示室などがあります。

3階部分は全て収蔵スペースで、未整理公文書資料が収蔵される文書中間庫、古文書資料などを収蔵する文書保存庫のほか、マイクロ収蔵庫、特別収蔵庫、収蔵庫2(生産生業具以外の民具資料を収蔵)の5室があります。

用途別面積は、展示や講座などの教育普及活動で活用するスペースが633.6㎡、調査研

高山 治(たかやま おさむ)

八潮市立資料館資料館担当主査。平成21年4月から現職。



八潮市立資料館

究活動用スペースは61.4㎡、収蔵庫412㎡、管理スペース248.4㎡となっています。

3. 公文書の収集、整理・保存

当館が収蔵する公文書資料は、市史編纂事業で収集した明治期からの役場文書7,049簿冊のほか、毎年、保存年限の満了した廃棄公文書を市から移管しています。

当館が収集する公文書は、八潮市文書取扱規程の中で、「資料館長が歴史資料として重要であると認めるものについては、〈中略〉これを八潮市立資料館長に移管するものとする。」とされ、毎年度当初に市の文書担当課より提示された廃棄公文書一覧表（簿冊単位）で収集対象の文書を絞り込み、それを基に市の書庫へ集められた廃棄文書群から文書の抜き取り作業（一次選別）を実施します。

収集した公文書は、簿冊に収められた文書の内容を再度精査（二次選別）し、歴史資料として保存するか否かを決定します。保存となる文書点数は年平均約900簿冊程度で、その後は整理作業へ回ります。

整理作業では、資料の燻蒸処理、目録の作成、利用制限（公開・一部非公開・非公開）

の判断などを行います。作成した目録については、当館の全収蔵資料（公文書・古文書・民具・美術品・図書）を網羅した資料検索システムで閲覧利用者に供しています。

また、原本資料とともに、マイクロフィルム撮影作業も進めており、文書記録の長期保存を図っています。

現在、収蔵する原本資料は18,258冊、マイクロフィルムは1,031リールに上ります。

4. 公文書の活用

収蔵する公文書は、請求にもとづく閲覧利用のほか、当館が教育普及事業として開催する展示会などにおいても広く活用しています。

特に昨年度は、昭和の大合併をテーマにした第22回企画展「八潮が生まれた日」、近代八潮のまちの歩みを紹介した第23回企画展「まちの履歴書」など、公文書資料を中心とした展示会を開催し、市民への積極的な公開を図ってまいりました。

5. 今後の課題

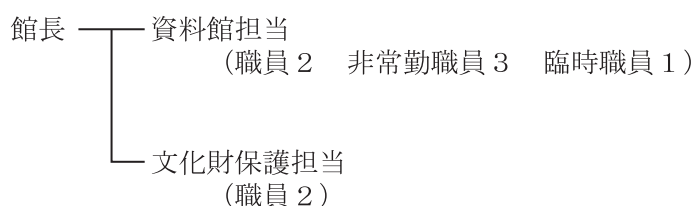
ハード面では、開館20年を経過し空調設備をはじめとする館内諸設備の老朽化が顕著となっており、また資料の収蔵スペースも飽和状態に近づきつつあるなど、資料の良好な保存環境を維持するため早急な対策を講じる必要に迫られています。

ソフト面では、平成21年7月に公布された「公文書等の管理に関する法律」に基づく市の公文書管理条例策定に向けた関係各課との調整・協議、条例施行を視野に入れた歴史公文書管理体制の整備が当面の課題として挙げられます。

データシート

平成23年 2月10日現在

- ・ 機関名：八潮市立資料館
- ・ 所在地：〒340 0831 埼玉県八潮市大字南後谷763-50
- ・ 電話 / F A X：048 997 6666 / 048 997 8998
- ・ Eメール：bunkazai@city.yashio.lg.jp
- ・ ホームページ：http://www.city.yashio.lg.jp/siryoukan/
- ・ 交通：東武伊勢崎線 / 「草加」下車徒歩20分またはバス [八潮駅北口行] 「手代橋」下車徒歩5分
- ・ 開館年月日：平成元年11月23日
- ・ 設置根拠：八潮市立資料館条例
- ・ 組織：



- ・ 建物：
 - 構造：鉄筋コンクリート造・地上3階建て
 - 規模：敷地面積 2,831.5㎡
 - 建築面積 1,225.47㎡
 - 延床面積 2,295.38㎡

- ・ 収蔵資料の概要（公文書関係）：
 - 公文書資料 18,258冊
 - マイクロフィルム 1,031リール

- ・ 開館時間：
 - 火曜日～日曜日 午前9時～午後5時

- ・ 休館日：
 - 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
 - 国民の祝日の翌日
 - 年末・年始

- ・ 主な業務：
 - 公文書資料の収集、整理・保存、公開
 - 企画展示・講座等教育普及事業の開催
 - 市史編纂業務（『WEB版 やしお歴史事典』の編纂）

